

10. 福井城跡 (JR 福井駅土地区画整理)

所在地：福井市大手2丁目

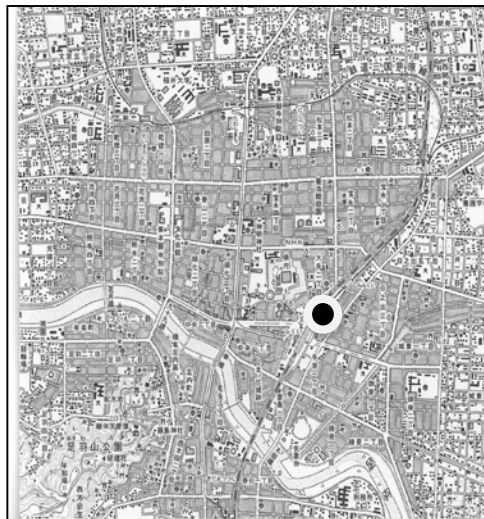
調査原因：JR 福井駅周辺土地区画整理事業

調査期間：平成27年12月14日～平成28年3月31日

調査主体：福井市文化財保護センター

調査面積：1,000 m²

時代：江戸



位置図 (S=1/50,000)

調査の概要 福井駅東口で北陸新幹線の高架沿いで実施しました。“福井城下絵図”によると、百間堀を渡る土橋と南北の曲輪にあたります。

調査では、土橋（1区）、土橋南（2区）で堀石垣、土橋北（3区）で線路の痕跡を確認しました。

遺構

1区 百間堀を渡り三の丸に通じる土橋で、堀に面して石垣積みをしています。石垣は南面で4段、北面は2段のみ残っていました。

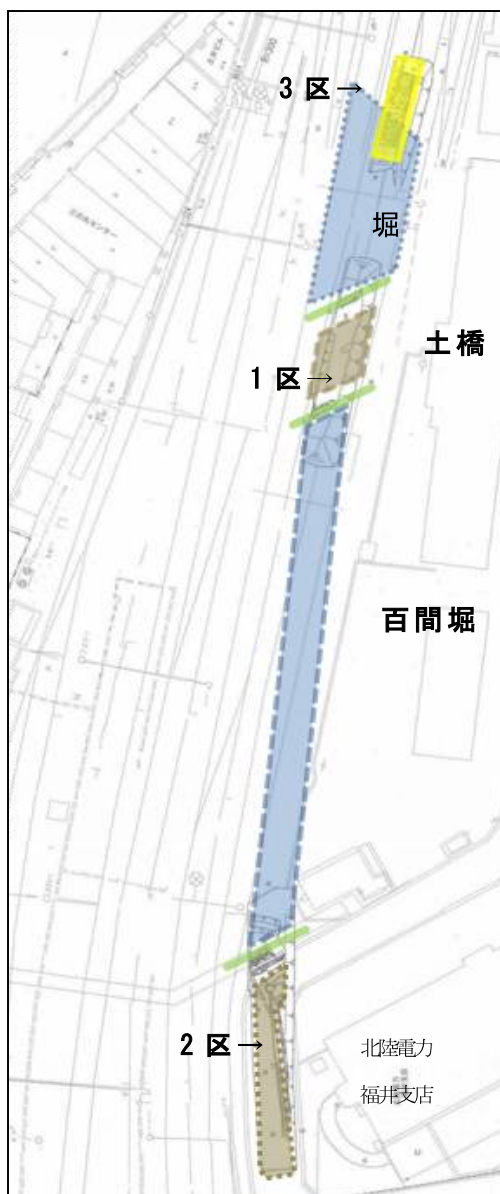
2区 百間堀より東の曲輪です。堀に面する石垣積みは3段残っていました。曲輪では堀から南に延びる砂利敷きの道を確認しました。また、近代においてもタンガラ混じりの砂利を幾重にも敷き道として使っていたことがわかりました。

3区 土橋より北の堀と曲輪に想定した地点で、近代に線路を布設した痕跡を確認しました。基礎は木材や枕木を井形に組み、内側に大型の石を詰めていました。その上には砂や粘土の層を蒲鉾型に造成しており、上面に枕木の並びと考えられる痕跡が見つっています。

遺物は井形内から明治時代を中心とした食器や生活用品など大量に出土しています。

まとめ 今回の調査では、百間堀を埋め立てた後の土地の変遷を確認できたことは大きな成果と考えられます。

(高木康行)



第1図 調査区位置図



写真 1 1区土橋南面の石垣（南から）



写真 2 2区百間堀と道（北から）



写真 3 2区百間堀石垣（北から）



写真 4 3区調査状況（南から）
（手前に枕木痕、奥に基礎）